

※文字の大きさは Meiryu UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A3 片面1枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは5MB以下としてください。

※事務局記入欄

【様式2】

No. 119

エントリー学校名： 岐阜県恵那市立大井第二小学校

活動名： いきいき 子ども・教師改革 ～ 学級経営・授業力向上マネジメント ～

解決すべき課題：

若手が多いことを長所として活かしたい。どの教員もがいきいきと子どもと向き合える学校にしたい。
 中堅教員として、どの教員もが自信をもち、子どもたちといきいきと実践ができるよう、教育法規の理解や、本
 当の意味でのマネジメントの理解をして、今後の実践に活かせるようにしていきたいと考えた。

目標・方針：

- ・ 自身(他者)の実践に対して、教育法規を根拠として、自信をもって取り組めるようにする。
- ・ よりよい、タイムマネジメント、リスクマネジメント(時間がかかる 保護者・子どもの対応など)等を理解し、本校(本県)の取り組みをよりよいものにできるようにする。

若手を中心に一人ひとりのよさを活かし、強みを活かした組織マネジメントについて理解し、実践につなげる。

活動内容：

- 子どもが自己肯定感を高めるための学級経営に関わる組織マネジメント、ビジョントレーニング
 - ・ 組織で動くための改革、研究の意図的、年間ビジョンを描いた学級経営案の作成
 - ・ Q Uを活かした子ども理解の進め方
- 若手教員の授業力を高めるための取組
 - ・ 自身の学びを活かした授業公開、研究会の実施(ベテラン教師による授業の講習会)
 - ・ 授業の交流(SWOT分析を活かした若手の授業力向上計画)

活動の成果：

- 見通しをもった学級経営ができていると実感している教員が増えた。
 独自アンケートの結果の向上(できてい 概ねできているの割合が58%から100%に増えた。)
- 学級経営に関わる研究発表会(11月20日)において内外から高評を頂いた。
 研究発表会におけるビジョンを描き、どの先生も充実した取組になるよう日程等を決め実践した。
 教員のアンケートによる声(「大変だったが、学級経営の研究をやってよかった。」など)
 参観された教員からの声(「構想図、学級経営案など市で共通に使えるようにして欲しい。」など)
- 子どもたちの自己肯定感の向上(子どもたちの発言、独自アンケートの自己肯定感の高まり。)
 Q Uの結果の向上(満足群が39.7%から52.0%に増えた。)
- 新学習指導要領の完全実施に向けた授業の提案をすることで、他の先生方の意識が高まった。

アピールポイント(アイディアや工夫)：

- 本校は、担任の67%が経験年数5年未満であり、資料配付だけでなく、ベテラン教師による授業研修や、示範授業の参観、SWOT分析を一緒にすることで、若手教師の教育力が高まった。
- 本年度は、地区指定の学級経営の発表があった。これまでの実践を基に研究内容を立ち上げた。特にステージ、ステージ構想図、学級経営案についての高評を頂き、市で共有して活用していくことになった。
- 研究内容の精選、研究会の日程調整などを行うことで、どの教員も見通しをもち取り組むことができるようになった。そのことにより、職員も子どもたちも自己肯定感が高まった。

写真1 (授業研修会の開催)



写真2 (若手教員との授業研究)



写真3 (市教研での授業)



資料1 (研究発表での構想図)

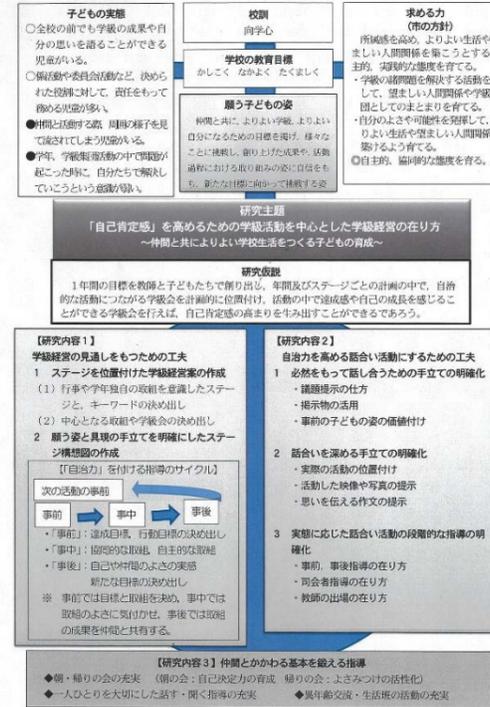


表1 (学級経営に関わる本校教員の意識の高まり)

【平成30年度】				
	1	2	3	4
見通しをもった学級経営		58	25	17
目標・CP・学級宣言の効果的な活用	25	58	17	
朝の会・帰りの会の充実	17	34	51	
よさをのばす学級会の位置付け	8	34	58	
意図的なよさ見つけ	58	25	17	
意識的な認め	25	67	8	
子どもの自治力を高める指導	17	67	8	8

【令和元年1学期】

	1	2	3	4
見通しをもった学級経営	9	91		
目標・CP・学級宣言の効果的な活用	27	63	9	
朝の会・帰りの会の充実	9	63	27	
よさをのばす学級会の位置付け	9	36	45	9
意図的なよさ見つけ	27	63	9	
意識的な認め	54	36	9	
子どもの自治力を高める指導	18	54	27	

資料2 (研究発表会で高評をいただき恵那市で共有された学級経営案の例)

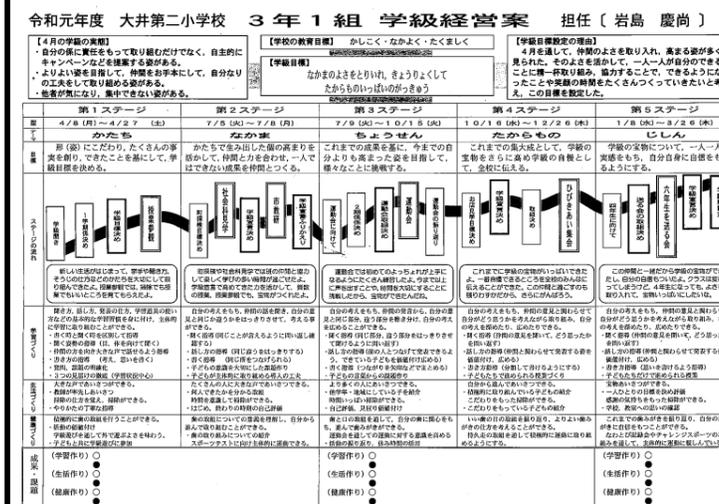


表2 (学級経営におけるQ Uの高まり)

	H312学期	R12学期
満足	39.7%	52.0%
非承認	20.4%	16.7%
侵害	11.1%	10.1%
不満足	28.8%	21.2%